

東日本大震災 支援ニュース No. 10

東日本大震災支援

報告会と壮行会が

行われました。

四月六日、震災支援を行ってきた第十九陣四名からの支援報告と四月七日から支援に出発する第二十三陣と第二十四陣七名の壮行会が行われました。

《支援報告》

松島医療生協に到着し、はじめに震災の状況報告が行われました。職員3名が亡くなったこと。野蒜地区では大津波がダイサービス「なるせの郷」の2階まで押し寄せたこと。3メートルの水の壁が押し寄せ、その水の中で看護師同土顔を合わせた。その後はぐれてしまい2回、3回の津波で瓦礫に流されたなど、悲惨な状況が話されました。

支援の主な内容は、松島海岸診療所と診療所職員宅の清掃や地域訪問でした。診療所の玄関はヘドロまみれだったため、水で洗い流しました。また車椅子も汚れていたため、介護者が使えるように綺麗にしました。



地域訪問は組合員宅70件ほどまわりました。9割の組合員は家が流され不在。会えた人は妻を亡くしており、一人で片づけを行っていました。また残った家の2階に一人で生活している人もいました。ライフラインが絶たれ、携帯電話もつながらない状況で生活をしていました。

今後は、後片付け支援の人数を増やすこと、被災者の健康管理のために訪問回数を増やすことが求められていると思います。

これからも被災地支援に全力を上げて取り組んでいきたいと思います。



《第23陣・24陣の支援者》

みなさんから預かり
した救援物資は被災者の
下にお届けしております。
ありがとうございました

医療生協組織部

TEL 22・5769